

ぼくは子ども司書

越智 由美子

ぼくは、たける。小学校3年生。学校で友だちとドッチボールで遊ぶのが大好き。けど他にも好きなことがある。本を読むのも大好きだ。

ぼくの町は、生まれてきた時に図書館の貸し出しカードをもらえる。だから町の人みんながそのカードをもっている。はじめてもらったカードをなくさないように図書館で使っている。

ぼくが本を好きなのは、おかあさんのおなかにいる時から絵本を読んでもらっていたからかな。

学校や公民館・本屋さん・お寺など町中の色々な所で読み聞かせをしているよ。よく家族でいっている。参加するとプレゼントがもらえるのがうれしいな。

図書館や学校以外にも本がたくさん置いてあるんだ。

花屋さんでは、お花に関係する本が置いてある。お花屋さんのおねえさんに、おかあさんの好きな『花しょうぶ』の花言葉を教えてもらった。『優しい心』だって。

また、お茶屋さんには、お茶の本やパンフレットがおいてあるよ。

ぼくは、市の図書館で『子ども司書』をしている。

『子ども司書』になるには、何日間か市立図書館で図書館や本の勉強をするんだ。とても大変だけど楽しいよ。小学校でも『子ども司書』は、人気があるんだ。妹のしおりは、今幼稚園だけど、大きくなったらなりたいといっている。

図書館の仕事はたくさんあるけれど、一番好きな仕事は、カウンターで本の貸し出しや返すこと。バーコードでピピとするのはとても楽しい。でも、間違えのないように気をつけている。

友だちが、「がんばって」と、声をかけてくれる時もあるよ。

整とんや本を戻すことも練習している。本には一冊一冊にかえる場所があるんだ。戻すのは、大変な作業だよ。みんながちゃんと返してくれたらいいのにと感じてしまう。

この前は、小学生の子に質問されたよ。

「昆虫の本どこにある？」

「ここです。」

と、ぼくは言った。答えられてよかった、と思った。まだまだ答えられないことも多いけど。

外から見えない部屋にもたくさん本があったよ。なんと本が、10万冊もあるんだって……。

ぼくのおすすめ本も紹介しているよ。本を借りてくれたり、読んでくれたりしたらうれしいな。

ぼくは、読みきかせもできるようにになりたいので、家で妹にきいてもらっている。

ぼくは、本がまわりにたくさんある生活が気に入っている。図書館で一日過ごしたいし、お泊りもできたらいいなと思っている。

ぼくは、本をいっぱい読みたいし、友だちにも本を紹介したいな。そして大きくなったら『おとな司書』になりたいな。